



幻想的な雰囲気の中で月見を楽しんだ

ドンコ舟の上で雅楽や舞を堪能

日吉神社治いの掘割で名月祭

市観光協会は9月12日、日吉神社治いの掘割で名月祭を行いました。このイベントは、ドンコ舟に乗って中秋の名月を觀賞してもらおうと、同協会が企画。掘割沿いやその周辺に設置された竹灯籠が幻想的な雰囲気演出する中、雅楽の演奏に合わせて、同神社の巫女が舞を披露しました。当日はあいにくの曇り空でしたが、ドンコ舟の乗船客は、雅楽の演奏や舞を堪能しながら、雲の間から見える月を楽しみました。

ゴール下だけは譲れない

第15回バスケットボール大会 ドリームズカップ

8月28日と9月4日の2日間、大和中学校体育館や大和B&G体育館でドリームズカップが行われました。福岡、佐賀、熊本から参加した社会人バスケットボールクラブ46チームが、優勝を目指して激突。ゴール下では、得点を入れようとする選手と、それを阻止しようとする選手が激しくボールを奪い合いました。一般男子の部では、市内から参加したレイバースが3位に入り、地元の意地をみせました。



ゴール下でボールを奪い合う選手たち

市民のひろば

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています

赤ちゃんをだっこしたよ

中島小 赤ちゃん抱っこプロジェクト



赤ちゃんを恐る恐る抱っこする中島小の児童

9月8日、中島小学校で5年生が赤ちゃんといふれあう「赤ちゃん抱っこプロジェクト」がありました。これは、児童に命を大切にする心をはぐくんでもらおうと企画。地元、藤野医院の藤野浩副院長の協力を受けて実施したもの。生後6か月前後の赤ちゃんとお母さん13組が同校を訪れ、出迎えた5年生の児童40人と対面しました。児童たちは、緊張した面持ちで赤ちゃんを抱っこしたり、ミルクを飲ませたりしました。数か月後には同じ赤ちゃんと再会し、赤ちゃんの成長を体感する予定です。

みんなはつらつ元気にプレイ

市老人クラブ連合会「グラウンドゴルフ大会」

市老人クラブ連合会は、グラウンドゴルフやペタンク、ゲートボールの3つのスポーツを、3大スポーツ大会として毎年催しています。大会の初日を飾ったグラウンドゴルフ大会は、9月15日、市民三橋グラウンドで開催しました。この日は雲ひとつない晴天に恵まれ、柳川、大和、三橋支部から160人が参加。日ごろの練習の成果を発揮しようと8ホール3ラウンドを、早朝から元気に楽しく競技を行いました。なお、ペタンク大会は9月24日、ゲートボール大会は9月27日に行われました。



参加者は早朝から競技を楽しんだ

かけっこやダンスに全力

蒲池小学校運動会



リレーでコーナーを全力疾走する6年生

9月は市内の各小学校で、秋の運動会が行われました。蒲池小学校では9月19日に運動会を開催。当初は18日でしたが雨天のため翌日に順延し、当日も雨が心配されましたが、無事運動会が催されました。1年生から6年生まで365人の児童は、赤、青、黄、緑の4つのブロックに分かれてかけっこや綱引きなどを競いました。また、この日のために練習を積み重ねてきた学年ごとのダンスや組体操も披露。児童のひたむきな姿に、会場に集まった保護者らは大きな声援を送りました。

水も人も
キラリ

川柳

今月の入選作品・課題「道」

人の世を少し離れて遍路道

古賀幸子（横山町）

何かに迷ったら一度自分を別の角度から見直すことも必要だ
ろ。 遍路姿の白い出で立ちにその思いを強くする。茶筒は真
横から見れば長方形だが真上から見れば円である。 流青

らしくあれ戦後教師の道しるべ
道程よ忍の一文字萩の揺れ
人生は地図のなき道求めつつ
背負われて母と来た道秋まつり
二股の道でつないだ手が離れ
この国の行く手どんよりいばら道
道標うさぎと亀の話をしよう
古里へ行くも帰るも道迷う
秋草に君を語りしお堀道
曲がり角花束そつと置いてある
古い二人歩幅合わせて日暮れ道
折々の軌道修正うまくなり
懐かしき我が道行つた若き日よ
生きる道いつしか蛇行繰り返す
土砂崩れ道無き道にただ絶句
船頭の口上聞ゆ水辺道
ヒョットコがだしを引き引き村の道
ふり返る道の向こうに母がいた
空に道あるかも父の道探す
まわり道しても花咲く若者よ

田中位緒枝（豊原）
石川百合子（材木町）
西田トミニ（中島）
梅崎三和子（田脇）
鶴岡定子（東蒲池）
古賀麗子（吉原）
花島忠常（南浜武）
池田美幸（佃町）
坂田洋子（上宮永町）
川淵 学（佃町）
江口美雪（今古賀）
梅崎由美子（七ツ家）
野片義博（隅町）
原田アツ子（有明町）
荒巻ミエノ（南浜武）
浦 哲之（米）
徳永智有（徳益）
梅崎省二（佃町）
吉開綾子（筑紫町）
日高貴美（矢留本町）

川柳を募集しています。選句者は梅崎流青さん。11月の課題
は「呼ぶ」です。入選作品は11月1日号に掲載します。

●応募方法 川柳と明記し、自作、未発表の作品（※1人3句
以内）に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファク
スまたは直接、柳川庁舎企画課広報係（☎77・8425、
FAX74・5520）へ、10月15日（※必着）までにお送りください。

祭り笛ふるさと遠き人を呼ぶ

流青